

# MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別売部品 自動昇降キット取付説明書

## 安全のために必ず守ること

- 取付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

<b>△警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
<b>△注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 取付工事完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

### ⚠警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で取付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

取付工事は、この取付説明書に従って確実にこなす。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

台風などの強風、地震に備え所定の据付工事をこなす。

- 取付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因となります。

取付けは、重量に十分に耐えるところに確実にこなす。

- 強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

小部屋に取付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策をこなす。

- 限界濃度を超えない対策については、販売店にご相談ください。万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

作業中に冷媒が洩れた場合は、換気する。

- 冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカを使用する。

- 電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。

- 接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。

室内外ユニットの端子盤カバーを確実に取付ける。

- 端子盤カバー取付けに不備があると、ほこり・水等により、火災・感電の原因になります。

取付けや移設の場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。

- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。

改造は絶対にしない。

- 修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。改造したり修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。

- 取付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。

設置工事終了後、冷媒が洩れていないことを確認する。

- 冷媒が室内に洩れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

## 取付けをする前に（環境）

### ⚠注意

特殊環境には使用しない。

- 油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所、海浜地区など塩分の多い場所、積雪により室外ユニットが塞がれるところに使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れの恐れがある場所へは据付けない。

- 万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になることがあります。

病院、通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分にこなす。

- インパクター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

精密機器・食品・動植物・美術品の保存等特殊用途には使用しない。

- 保存物の品質低下等の原因になることがあります。

濡れて困るものの上にユニットを据付けない。

- 湿度が80%を越える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので、必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

# 形名

PAC-SH85JK [天吊Kタイプ P40～P56形]  
PAC-SH86JK [天吊Kタイプ P63～P80形]  
PAC-SH87JK [天吊Kタイプ P112～P160形、P3～P5MKA形]

## 取付け（移設）工事をする前に

### ⚠️ 注意

製品の運搬は充分注意して行なう。

- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行なってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

梱包材の処理は確実に行なう。

- 梱包材には「クギ」等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとさし傷などのケガをする恐れがあります。

冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行なう。

- 不完全な断熱施工を行なうと配管等表面が結露して、露たれ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないように保温すること。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になることがあります。

据付台等が傷んだ状態で放置しない。

- 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。

エアコンを水洗いしない。

- 感電の原因になることがあります。

## 電気工事をする前に

### ⚠️ 注意

設置場所（水気のある場所等）によっては漏電遮断器を取付ける。

- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。

電源配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

電源配線は張力が掛からないように配線工事をする。

- 断線したり、発熱・火災の原因になることがあります。

アース工事を行なう。

- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

正しい容量のヒューズを使用する。

- 大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因となる場合があります。

## 試運転をする前に

### ⚠️ 注意

運転を開始する12時間以上前に電源を入れる。

- 電源を入れてすぐ運転開始すると、故障の原因になることがあります。シーズン中は電源を切らないでください。

パネルやガードを外した状態で運転をしない。

- 機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

エアフィルタを外したまま運転をしない。

- 内部にゴミが詰まり、故障の原因になることがあります。

濡れた手でスイッチを操作しない。

- 感電の原因になることがあります。

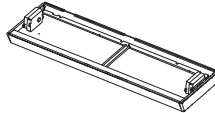
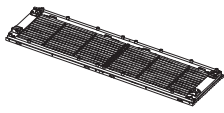
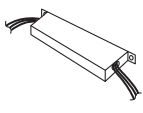

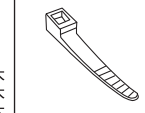
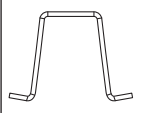
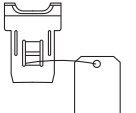
運転中の冷媒配管に素手で触れない。

- 運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷ややけどになる恐れがあります。

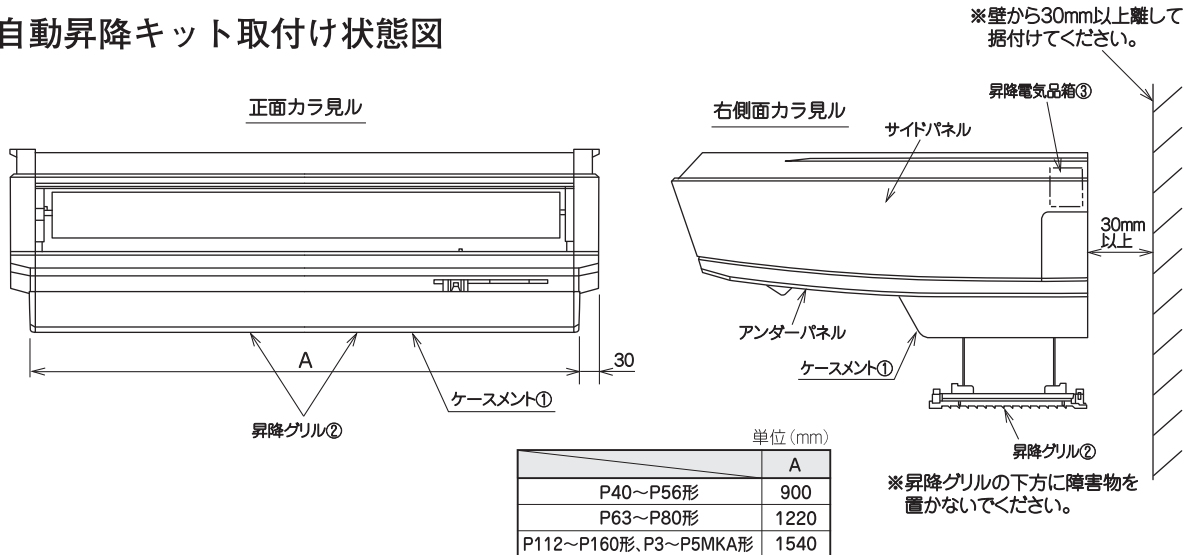
運転停止後、すぐに電源を切らない。

- 必ず5分以上待ってください。水濡れや故障の原因になることがあります。

# 1. 付属部品の確認 (下記部品が付属されておりますので、取付前に確認ください。)

品番	① ケースメント	② 昇降グリル	③ 昇降電気品箱	④ ネジ	⑤ タイラップ	⑥ フック	⑦ キャッチ
個数	1	1	1	10	4	2 (仮固定用)	2 (仮固定用)
形状				 実使用数 SH85JK...6本 SH86JK...7本 SH87JK...8本			

# 2. 自動昇降キット取付け状態図

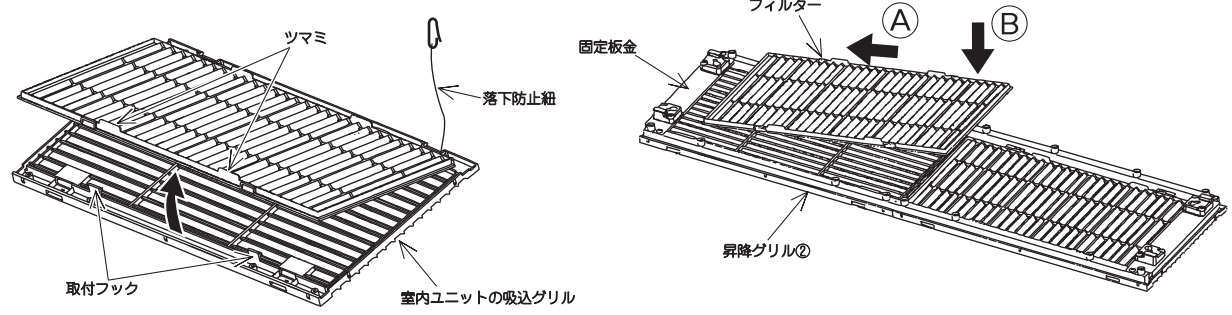
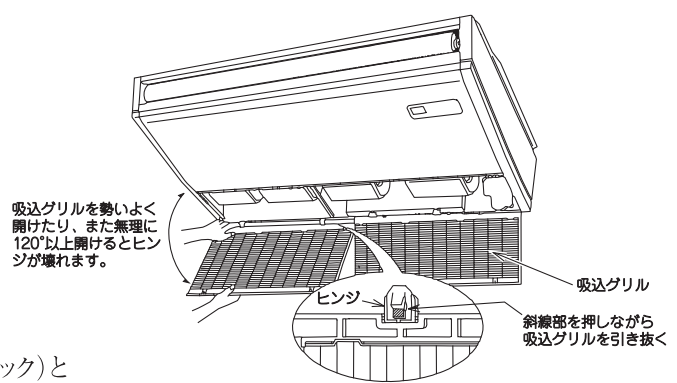


# 3. 取付け前の準備

●自動昇降キット取付により、ドレン配管・冷媒配管の取出方向に制約があります。  
 冷媒配管：後取出または上取出となります。(右横取出は出来ません。)  
 ドレン配管：後取出または上取出(別売ドレンアップメカ取付時)となります。  
 (左横取出・右横取出は出来ません。)

- 1) 室内ユニットの吸込グリルを取外します。
- 2) 吸込グリルに取付けられているフィルターを取外します。
- 3) 取外したフィルターを昇降グリルに取付けます。(フィルターを矢印Aの方向にスライドさせ、昇降グリル端の固定板金の下にくぐらせた後、矢印Bの方向に押し込みます)
- 4) 吸込グリルに取付けられている落下防止用紐を取外します。

※昇降グリル②を仮固定する際必要となります。  
 ※仮固定しない場合は、他の仮固定部品(キャッチ、フック)と一緒に保管してください。  
 ※取外した吸込グリルは不要となります。



## 4. 自動昇降キットの取付け要領

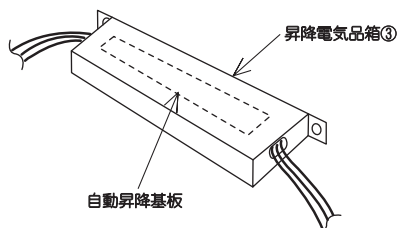
### 昇降グリル下降距離の設定

- 昇降グリルの下降距離を、ユニットの設置高さに応じ8段階に設定することができます。

距離は目安ですので実際に下降させて確認してください。

※工場出荷時は、自動昇降キット下面から1.6mで自動停止します。

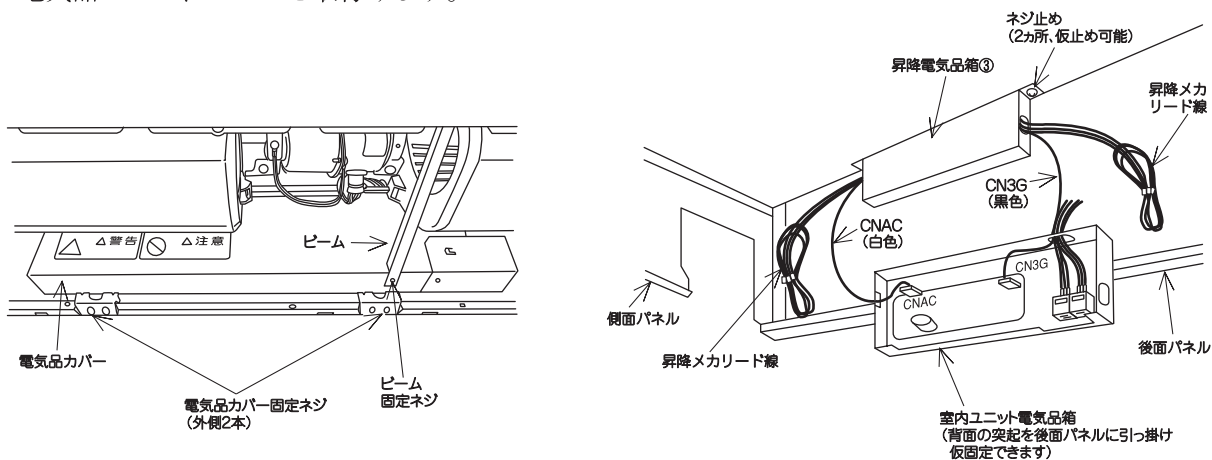
- 1) 昇降電気品箱③のカバーを外します。
- 2) 下降距離に合わせて自動昇降基板のディップスイッチSW22を設定します。
- 3) カバーを元通りに取付けます。



SW22 (下降距離設定)			
下降距離	1.2m	下降距離	1.6m (工場出荷仕様)
天井高さの目安	~2.7m	天井高さの目安	2.7m~3.0m
設定	ON OFF  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	設定	ON OFF  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
下降距離	1.9m	下降距離	2.2m
天井高さの目安	3.0m~3.3m	天井高さの目安	3.3m~3.6m
設定	ON OFF  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	設定	ON OFF  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
下降距離	2.5m	下降距離	2.8m
天井高さの目安	3.6m~3.9m	天井高さの目安	3.9m~4.2m
設定	ON OFF  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	設定	ON OFF  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
下降距離	3.1m	下降距離	3.4m
天井高さの目安	4.2m~4.5m	天井高さの目安	4.5m~4.8m
設定	ON OFF  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	設定	ON OFF  1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

### 昇降電気品箱の取付け

- 1) 室内ユニットのビーム、電気品カバーを取外し、電気品箱を引き下げます。
- 2) 室内ユニット天面に仮止め用ネジ (2本) を取りつけ、昇降電気品箱③を引っ掛け、ネジを締め固定します。
- 3) 昇降電気品箱③から出ているリード線CNAC (白色) とCN3G (黒色) をそれぞれ下図のように室内電気品箱に通し、制御基板のCNAC (白色)、CN3G (黒色) に確実に接続します。
- 4) 室内電気品箱を押し上げ、元の位置にネジ固定します。  
その際、昇降電気品箱③と室内ユニット電気品箱間で昇降用リード線にたるみが無いように、余った部分を電気品箱内に収納してください。
- 5) 電気品カバー、ビームを取付けます。



## 4. 自動昇降キットの取付け要領 のつづき

ケースメントの取付け 注意：ワイヤーが絡まるので、ジョイントホルダーは昇降グリルを取り付けるまでケースメント①から外さないでください。

### 1) 仮止めの準備

- 室内ユニット吸込口側のアンダーパネル固定ネジを2～5mm 緩めます。
  - 室内ユニット後面に仮止め用ネジ④を2～5mm緩めた状態に取り付けます。
- ※仮止め用ネジを取り付ける位置は機種により異なります。  
ケースメント側の穴が切欠きになっている位置に合わせて取り付けてください。

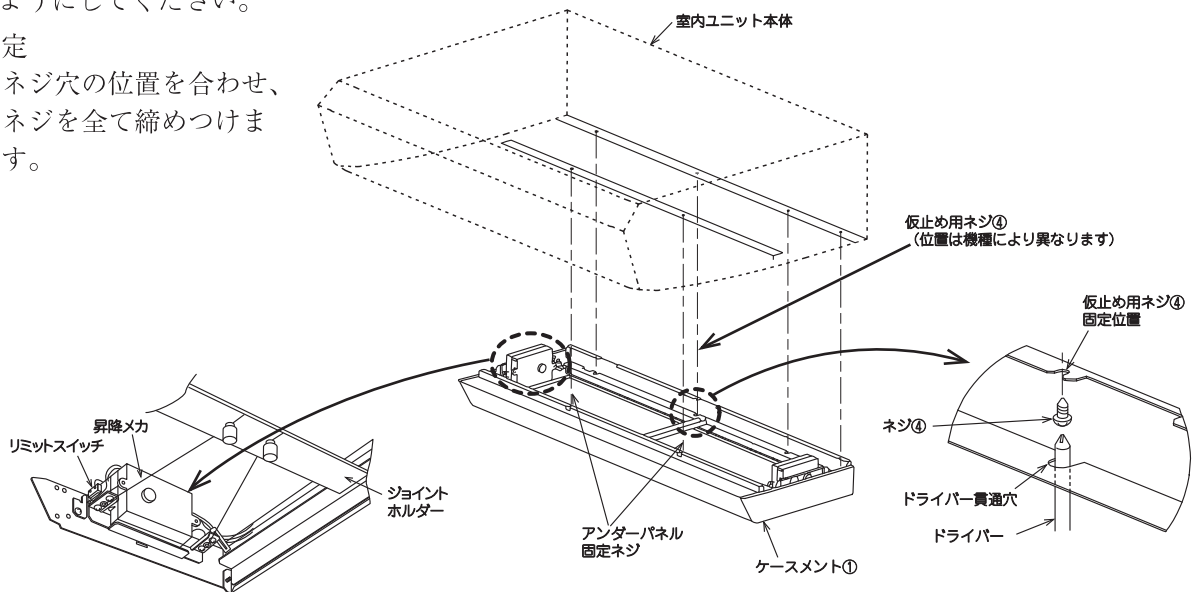
### 2) ケースメントの仮止め

- ケースメント①をアンダーパネル固定ネジ、仮止め用ネジ④に引っ掛けます。
- ※この時リード線、ワイヤーがユニット本体とケースメント①の間にはさまないように注意してください。

故障の原因になりますので、左右に付いているリミットスイッチに触れ、応力がかからないようにしてください。

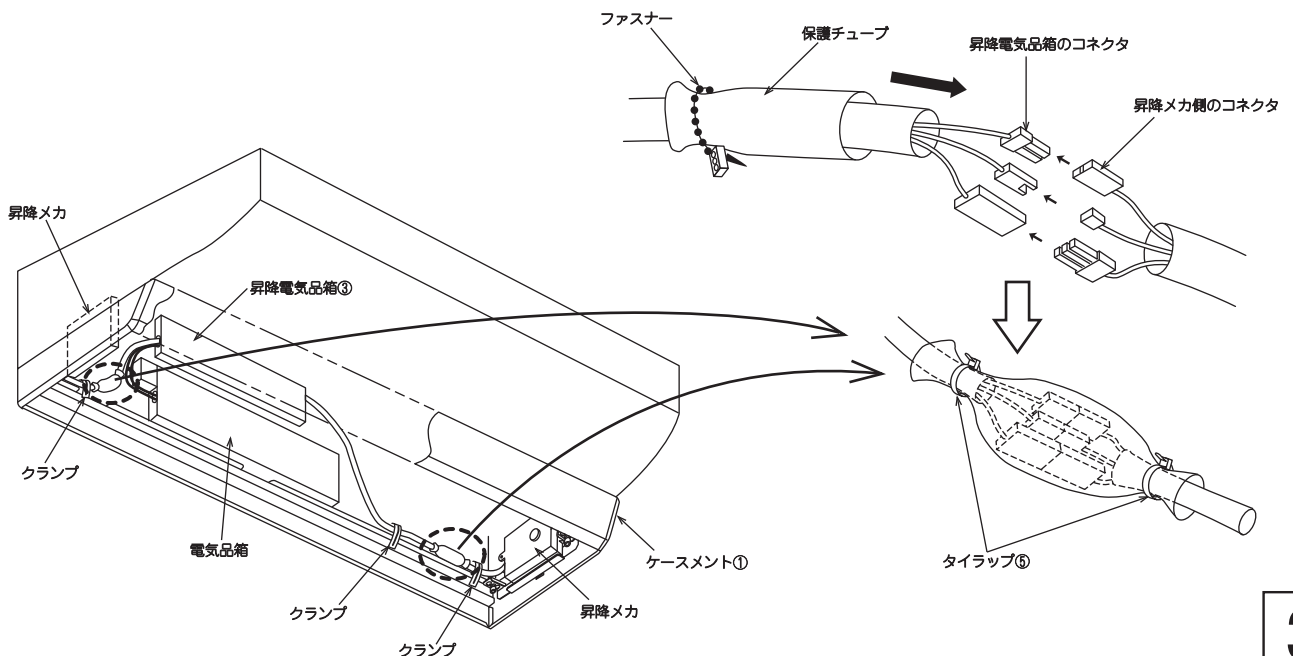
### 3) 固定

- ネジ穴の位置を合わせ、ネジを全て締めつけます。



### 昇降メカの配線

- 1) ケースメント①左右から出ている昇降メカのリード線コネクタ (片側3カ所)、昇降電気品箱③の左右から出ているリード線のコネクタ (片側3カ所) を確実に接続します。
- 2) 昇降電気品箱側の保護チューブのファスナーを外し、コネクタ接続部が露出しないように保護チューブをずらしかぶせ、タイラップ⑤でチューブ開口部をふさぎます。
- 3) リード線がたるまないように、ケースメント①のクランプにてまとめます。

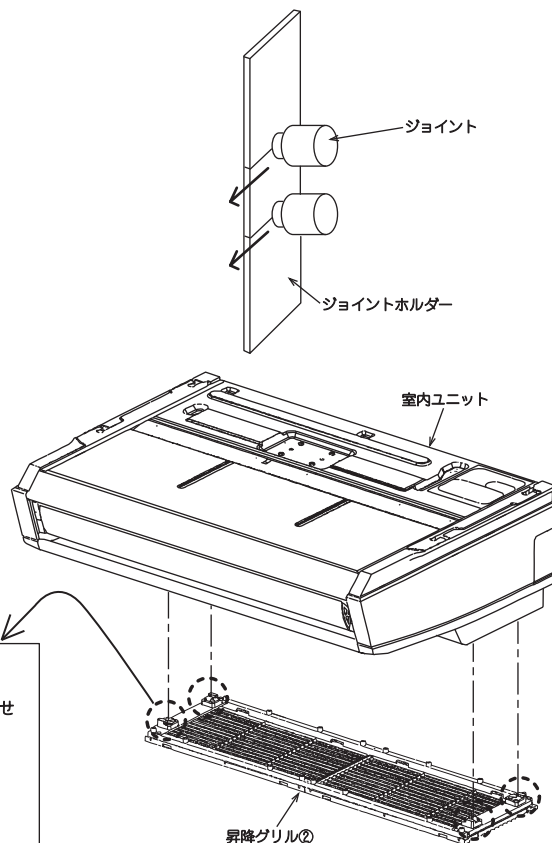
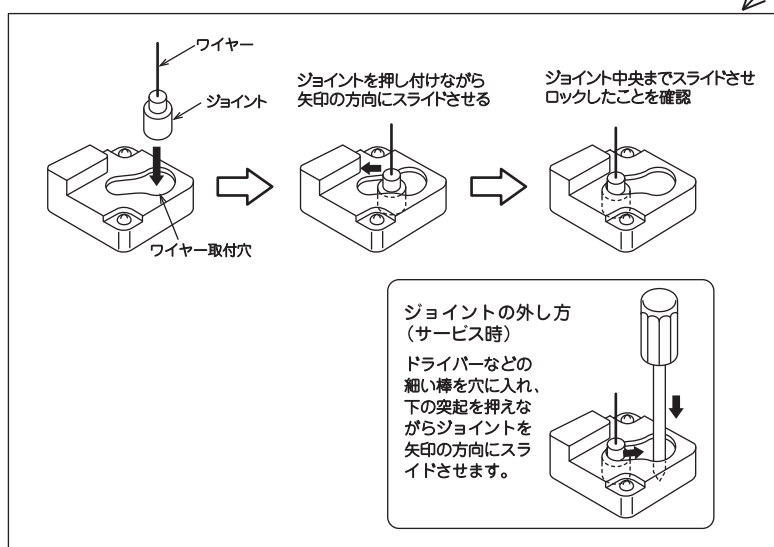




## 4. 自動昇降キットの取付け要領 のつづき

### 昇降グリルの取付け

- 1) ジョイントをジョイントホルダーから外してください。  
※ジョイントホルダーは昇降グリル②を仮固定する際必要となりますので、取付説明書と一緒に保管してください。
- 2) 昇降グリル②コーナー部のワイヤー取付穴にワイヤー先端のジョイントを通し、押し付けながらスライドさせ固定します。ジョイントが確実にロックし、穴から抜けないことを必ず4ヶ所共確認してください。



## 5. 昇降グリルの収納確認

室内ユニット、室外ユニットの配線工事終了後確認してください。

### ワイヤードリモコンからの操作

- 1) エアコンの運転を必ず「停止」にしてください。
- 2) リモコンの (フィルター) と (換気) ボタンを同時に2秒以上押してください。  
昇降操作モードに入ります。
- 3) 設定温度 (△) を押すと、しばらくしてから昇降グリルが上昇し、収納されます。
- 4) (運転停止) ボタンを押す、または (フィルター) と (換気) ボタンを同時に2秒以上押して昇降操作モードを解除します。

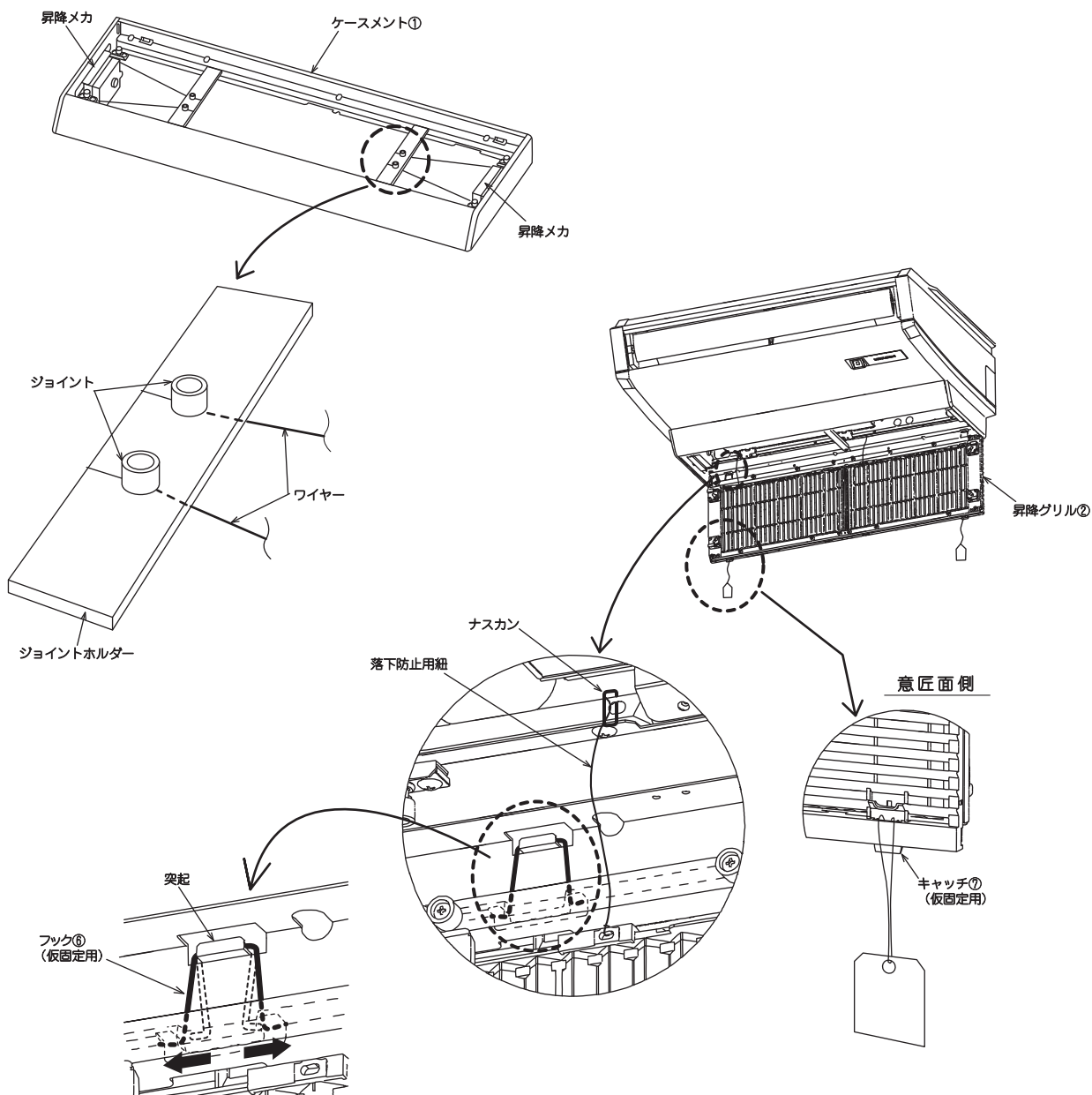
### ワイヤレス受光部 (別売) を取付けた場合

昇降パネルリモコン、またはワイヤレス受光部の (上げる) ボタンを押すと、昇降グリルが上昇し、収納されます。

## 6. 応急時の昇降グリルの仮固定

電源投入前、および故障により昇降グリルが動作しなくなった場合に、仮固定ができます。  
(サービス時の場合も同様)

- 1) ワイヤー4本をからまないようジョイントホルダーに固定してください。  
※サービス中は仮固定した状態でユニットを運転する場合がありますので、ワイヤーにゆるみがないように固定してください。
- 2) 昇降グリルの穴に室内ユニットの吸込グリルから取外した落下防止用紐を通し、取付けます。(左右2ヶ所)
- 3) 昇降グリル②に、キャッチ⑦とフック⑥を取付けます。(最も外側2ヶ所)  
※キャッチに付いている札は外さず、そのまま取付けてください。
- 4) 仮固定用フック⑥をケースメント①の突起に引掛けます。
- 5) 落下防止用紐のナスカンを室内機の穴に引掛けます。
- 6) グリルを閉じ、キャッチ⑦をスライドさせグリルを固定します。  
※その際ワイヤー、落下防止用紐をはさまないようにしてください。
- 7) 電源投入後またはサービス完了後はフック⑥、キャッチ⑦、落下防止用紐を外し取付説明書と一緒に保管してください。(再利用します)



## 7. 確認

- 配線接続が確実にされていることを確認します。  
※接続されていないとグリルが昇降しない原因となります。
- 昇降グリルの下降距離がお客様の要望に合っていること、また昇降動作がスムーズであることを確認します。
- 下降距離を変更した際は、必ず動作を確認してください。

上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体及び別売部品の説明書、仮固定用部品等の一式全てをお客様へ渡してください。その際、自動昇降キットの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明と昇降グリルの昇降方法（リモコン操作）の説明を必ずお客様へしてください。